

別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	令和4年度 第1回桶川市いじめ対策委員会	
開催日時	令和4年8月19日（金） （開会）午後1時30分・（閉会）午後3時00分	
開催場所	桶川市役所 201	
主宰者の氏名		
議長の氏名		
出席者氏名 （委員）	4名	
欠席者氏名 （委員）	1名	
説明員氏名		
事務局職員 職名及び氏名	3名	
会 議 事 項	議 題	
	開会	
	1 あいさつ	
	2 委員紹介（名簿にて確認）	
	3 委員長・副委員長確認	
4 協議等		
		（1）桶川市等のいじめに係る現状
		（2）第1回学校の生活アンケートの実施について
		（3）その他
		5 次回以降の予定について
	閉会	
	決定事項等	
配布資料	次第・名簿、いじめ対策委員会規則、 桶川市等のいじめに係る現状 令和3年度生徒指導上の諸問題に関する調査 第1回学校の生活アンケートの実施について	

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>開会</p> <p>1 あいさつ (省略)</p> <p>2 委員紹介 (名簿にて確認)</p> <p>3 委員長・副委員長確認</p> <p>4 協議等</p> <p>(1) 桶川市等のいじめに係る現状資料に基づいた説明 (省略)</p>
委 員	<p>桶川市等のいじめに係る現状の資料から、何か気づきはあるか。平成29・30年度の認知数が低い理由をどう考えるか。</p>
事務局	<p>いじめ防止対策推進法が施行されて間もないため、いじめの認知が進んでいなかったと考えられる。</p>
委 員	<p>桶川市児童生徒数の推移はどのようなものか。</p>
事務局	<p>微減ではあるが、区画整理等により、増加している学校もある。</p>
委 員	<p>桶川市では人口が減っていく予想があったが、予想に反して人口はあまり減っていない。</p> <p>いじめの認知件数の学年別内訳のグラフについて、何か気づきはあるか。</p> <p>また、令和3年度はいじめの状況について「解消に向けて取組中」の割合が大きい。いじめが発生した時期にもよるが、いじめが止んでいる状態が3か月継続していることが、解消の条件であるため、一概に解消していないからと言って問題になることではないが、「解消に向けて取組中」のいじめの中でいじめの重大事態になりそうな案件はあるか。</p>
事務局	<p>1学期の調査から、ほぼすべてのいじめが解消していると学校からの報告があった。</p>
委 員	<p>「いじめの発見のきっかけ」の資料から、小学校では50件で学級担任がいじめを発見したことがわかる。先生方が努力している現われである。反面、中学校では0件であった。担任の先生には、もう少し努力してほしいと思う。</p>
委 員	<p>中学校の学級担任は、いつも教室にいるものなのか。</p>
委 員	<p>朝・帰りのホームルーム、給食の時間以外は、教室にすることが少ない。市内のある中学校では、かつて担任が授業を他学級で行わないときには、自学級の机で事務仕事をする取組はあったが、今は行われていないようである。</p>
委 員	<p>いじめの特別な対応として「保護者への報告」を中学校では、すべての件で行っているが、どういうことなのか。</p>
事務局	<p>いじめる児童生徒への対応として行われたことである。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	桶川市では、いじめ以外の問題行動、例えば暴力行為などはないのか。
事務局	全くないとは言い切れないが、目立ったものはない。
委 員	学校におけるいじめの問題に対する日常の取組として、「インターネットを通じて行われたいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した」の項目に、小学校が1校だけ取組がなかった。昨年度（令和3年度）から一人一台端末が導入されたことを考えると、実施していないのはいかなものかと考える。
事務局	教育委員会としても、学校に指導していく必要がある。
委 員	ネットトラブルは、いつの間にか発生しているケースもある。保護者が後で子供の端末を見て、もめてしまうケースもあった。学校から貸し出された端末の持ち帰りは、どのようになっているのか。
事務局	学校で基本は保管することになっているが、学校によっては、計算ドリルにも代わる端末の中に入れて、家庭に持ち帰っていることもある。また、学級閉鎖・コロナウイルス罹りによる長期にわたる持ち帰りも時々ある。学校内で使用していたとしても学習に関わりはないサイトにアクセスして、教員から指導されるケースもあった。
委 員	大人の見えないところで、何をしているか心配である。
委 員	学校の端末は、フィルタリングをしているのか。
事務局	もちろんしている。
委 員	フィルタリングは保護者がかけるものであるから、保護者の理解と取組が大切である。
事務局	コロナ禍前は、学校公開等で、学校は子供たちと共に保護者に向けても外部指導者を招いたネット講座等を実施している。一人一台端末が導入されたことさらなる啓発が必要である。
事務局	(2) 第1回学校の生活アンケートの実施について 資料に基づいた説明（省略）
委 員	各校のいじめの内容を見て、気になることはあるか。
委 員	机に「死ね」と書かれた事案は、かなり辛いものである。
委 員	その事例では、学校が保護者に連絡をしているようだ。書いた子が5年生であると、「死ね」と書けてしまうのか。「死ね」という言葉は、自然に出てくるものなのか。
事務局	学校では「死ね」という言葉を平気で言う子も中にはいる。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委 員	叩かれたり、ぶたれたりする内容が多い。
委 員	ある小学校の1年生の内容は、同じ子がいじめをしていることが考えられる。
事務局	学校の生活アンケートでは、同じ子の名前が書かれてしまうケースもよくある。
委 員	書かれている子は、発達障害の診断が出ている児童・生徒もいるのか。
事務局	一概には言い切れないが、そのような可能性が考えられるケースもあった。
委 員	子供たちの本音を聞き出せる「生活ノート」を、どのように取り組ませているのか。
事務局	中学校では、全校で取り組んでいると考えられる。
委 員	担任との人間関係ができていれば、子供が本音を書け、いじめ発見の手がかりにつながる事が考えられる。
事務局	過去に日記指導をしていた際、子供の本音を引き出させたこともあったが、「ノートを開いて提出」など、提出の仕方により、正直に自分の気持ちを書けない場合もあるし、逆に書ける場合もあると考えられる。
委 員	提出・返却の仕方を考慮すれば、子供が本音を書くことにつながる。今は、子供が担任に直接電話することが、個人情報関係で難しい時代である。どのように子供の気持ちを引き出せるかが大切である。
委 員	やはり回収の方法を工夫すれば、子供の本音を知ることができる良い手段となり得る。
委 員	先生はいつ生活ノートを見るのか、「働き方改革」もあるから、本当に難しいことである。
委 員	生活アンケートに書かせることで、認知数は増えるが、担任が指導をしなければならぬので、担任の負担は増えるのではないか。
委 員	児童同士のコミュニケーションがうまくいかず、トラブルになっているケースが多い。ソーシャルスキルトレーニングを取り入れるなど、スキルを身に付けさせる必要がある。
委 員	学校におけるいじめの問題に対する日常の取組として、「児童・生徒会活動を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の間で人間関係や仲間作りを促進したりした」に、中学校はすべての学校で回答していた。このような取組や体験的な学習がよいのではないか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	市内の生徒指導担当者連絡協議会があるので、中学校の取引組は、小学校にも広めていきたい。ソーシャルスキルトレーニングが得意な教員は、授業の中でも取り入れてコミュニケーションスキルを高めているケースもある。
委 員	「子供が素直に表現できる」と捉えらると、認知件数が増えている方がよい指導をしていると考えられる。認知件数が少ない学校は心配である。
委 員	いじめられる子のコミュニケーションスキルを高められる先生方の教育技術を広め、先生方全体のスキルアップを図ってほしい。スクールカウンセラーがもう少し活躍できるとよい。
事務局	スクールカウンセラーは、小学校には月1回半日、中学校には週に1日、または隔週で1日来校している実態がある。
委 員	相談員の勤務の様子はどうか。
事務局	小学校では週3日、スマイル相談員として、中学校では、さわやか相談員として勤務している。
委 員	相談員の資格は、資力を支える大人数の教員に比べて、子供に授けられる教育力が高い。応じられたい。進めたい。止めた教育者。
委 員	ツイックも注がら、あこる。イタ国も注がら、あこる。タ下色注がら、あこる。一がれ色注がら、あこる。で語ると、想像力。反論が「家庭環境で、論を下しうさがある。自下しうさがある。分てに感たり、国への感じたり、言語攻撃と勘違いの高め勘違いの話を必要とする。一人の会話を必要とする。一人の会話を必要とする。一人の会話を必要とする。
委 員	コミュニケーション能力を育成できる時間を設定すること。コミュニケーション能力を育成できる時間を設定すること。コミュニケーション能力を育成できる時間を設定すること。
委 員	学年組織が若返っている中で、指導の伝達技術の伝承ができていない。学校のベテラン教師が活躍できると良い。再任用教員が活躍できると良い。
	(3) その他 (特になし)
	5 次回以降の予定について (省略)
	閉会